

マナーのツボ

連休明けの心得



連休もいよいよ終盤になると「休みが続いてくれたら」と憂鬱な気持ちになります。多くの人は連休最終日から翌朝にかけて「仕事モード」に切り替えます。

連休明けは忙しさからついミスしたり、鈍った感覚を実感したりする人は多いはず。初出勤日の午前中は普段の感覚を呼び戻すための時間と心得ます。出勤後、上司や同僚への挨拶を済ませたら早めに着席し、静かにデスクに向かいましょう。連休中の出来事や土産話は本人たちには楽しくても、周囲は迷惑ですから、話す場所やタイミングなど注意が必要です。部下を持つ人は皆の気分を察し、「少

土産話、時と場所に注意

しずつ戻していこう」と共感フレーズを告げるとよいでしょう。

おしゃべりが好きな人から話しかけられ、話が長くなりそうな場合は困ってしまいます。よそよそしい態度で「今はちょっと話せません」と遠回しに断ってしまったり冷たい印象を与えます。こちらからお願いする形で「ぜひ後ほどゆっくり話をしましょう」と伝えると、角が立ちません。

会社によっては少しずつ休みをずらしていることがあります。この場合、出社してまず、休みを取らせてもらったお礼を伝え、何か変わったことがなかったか尋ねます。自分の休みの間に働いた人への気遣いは絶対にお忘れなく。もしお土産を持参している場合は、出社後すぐに渡します。ただお土産はなくても大丈夫。肝心なのは、仲間への感謝の気持ちです。

(ビジネスマナー講師

美月 あきこ)